

## 『建築職 総まとめ講座 環境工学・建築設備』(KU19245)

## 訂正表

2024年3月14日現在

ページ	訂正箇所	訂正内容		掲載日
P. 40	(1) 残響時間 説明文1行目	誤	音源を止めた後、音圧レベルが60 [dB] 減衰するまでに要する時間のこと。	2023/2/3
		正	音源を止めた後、音の強さレベル (音圧レベル) が60 [dB] 減衰するまでに要する時間のこと。	
P. 40	[例題13] 肢2の解説文	誤	2 ✕ 残響時間とは、音源を止めた後、音圧レベルが60 [dB] 減衰するまでに要する時間のこと。	2023/2/3
		正	2 ○ 残響時間とは、音源を止めた後、音の強さレベル (音圧レベル) が60 [dB] 減衰するまでに要する時間のこと。	
P. 46	① 二酸化炭素 (c) 説明文	誤	(c) わが国の建設関係 (セメントなども含む) の二酸化炭素発生量は、国内全産業の約1/4程度。	2023/5/2
		正	(c) 我が国のCO <sub>2</sub> 排出量の1/3は住宅・建築物に係るものであり、その大部分を建物の運用段階でのCO <sub>2</sub> 排出量が占めている。 「一般社団法人 日本建設業連合会 HP」。	
P. 51	表1.5 「空気」の2行目 「一酸化炭素」	誤	一酸化炭素濃度 無色無臭の気体。許容値は0.001 [%] (10 [ppm]) 以下。	2024/3/14
		正	一酸化炭素濃度 無色無臭の気体。許容値は0.0006 [%] (6 [ppm]) 以下。 ※令和3年12月24日の政令等の改正により、令和4年4月1日以降、基準値が改正となりました。	
P. 51	表1.5 「空気」の4行目 「温度」	誤	温度 17～28 [°C] (夏: 26～27 [°C], 冬: 20～22 [°C]) の範囲が望ましい	2024/3/14
		正	温度 基準値は18～28 [°C]。なお、夏: 26～27 [°C], 冬: 20～22 [°C] の範囲が望ましい。 ※令和3年12月24日の政令等の改正により、令和4年4月1日以降、基準値が改正となりました。	

※「掲載日」は、上掲訂正情報がLECホームページの『公務員 テキスト改訂・修正情報一覧』(<http://www.lec-jp.com/koumuin/info/teisei/>)に掲載された日付です。